

# Hello, friends

(pp.10-17)

解説編

最初の見開きは、単元の概要をつかむことを目的としたページです。

教科書全体の編集方針のほか、各単元の活用や指導の流れなどを掲載しています。ここでは、5年生Unit1の内容をお示しします。

単元目標

- ・ 名前や好きなもの・ことを伝える目的や場面、状況などに応じて表現を選択したり付け加えたりして、伝え合っている。(思考力、表現力)
- ・ 他者に配慮しながら、名前や好きなもの・ことを主体的に伝えようとしている。(学びに向かう力、人間性等)

言語材料

【表現】 How do you spell your name? E-M-I-L-Y. Emily. What sport do you like? I like soccer. My name is ~. I'm ~. I like ~. I don't like ~. など  
 【単語】 スポーツ(volleyball など), 色(red など), 食べ物(pizza など), 学校(library など)

各単元で学ぶ内容の概要を示しています。

学習すること

自分の名前を紹介し、好きなもの・ことについて表現や、スポーツや色などの単語を身につける。大文字の理解の定着を図る。

新しく人と出会い、自己紹介をすることからコミュニケーションは始まる。この教科書でも、登場人物たちが初めて新しい英語の先生や外国からの友達と出会い、自己紹介をするシーンから始まっている。新学期の始まりにふさわしい単元である。  
 まず、等身大の登場人物たちのやり取りをモデルとして聞く。自己紹介は通常、名前の紹介から始まるが、外国の人の名前は日本人にとって聞き取りづらく、また外国人にとっても日本人の名前は聞き取りにくい。そこで名前を述べるときに、スペルアウトすることはよく行われる。アルファベットでどのように表記するのかを知ることは、児童にとって興味深い活動となるだろう。  
 この単元では大文字の名前の読み方の復習と書く練習を行っているが、名前のスペルアウトは、文字

を使用する良い機会となり、文字を認識したり産出する力を定着させるのに役立つ活動となる。  
 また、自己紹介の活動において、相手とのやり取りを通して内容を深めていく。中学年で学習した表現である I like (色, スポーツ, 食べ物), を使って自分のことを言い、また相手とやり取りしてコミュニケーション力を身につけていく。ただでなく、I don't like (食べ物) の表現も復習する。最終的には名刺カードを使い、児童が相手意識を持って自己紹介ができることをめざすことになる。  
 表現の定着を進める目的で作られた歌やチャンツで、児童は自然なスピードで英語を使える力を蓄えていく。これらの教材を有効に使いながら、英語を学ぶ楽しさを伝えたい。

	Starting Out (2 時間)					Your Turn (2 時間)								
該当ページ														
目標	自己紹介などのやり取りのおおよその内容を理解しよう。					各単元のめあてを記載しています。								
学習内容など	登場人物たちが学校で出会い、登校途中や教室、図書館などで、英語でやり取りをしている音声を聞く。児童は中学年で学んだことをもとに、等身大の登場人物のやり取りを通して、その内容のおおよその内容を理解できるかチャレンジをする。海外から来た児童について知ることで、学習の楽しさが増すであろう。スポーツや学校についての単語を学習し、大文字の読み方も復習する。					登場人物の好きな色やスポーツを聞き取り、線で結んだり、名前のつづりを見つけて○で囲んだりする。また、先生の好みを予想したり、ペア活動を通して友達の好きな色、スポーツ、食べ物をたずね合うことで、自己紹介で使用する主な表現や語彙の定着を図る。アルファベットの大文字を書く活動が始まる。引き続き名前の確認もしつつ、4 線上できちんと自信を持って書くことができるように指導する。								
四技能	聞く	話す (やり取り)	話す (発表)	読む	書く	聞く	話す (やり取り)	話す (発表)	読む	書く				
評価	○	○				○	◎			○				
	知識・技能			思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度		知識・技能			思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度	
	○					○		◎			○		○	

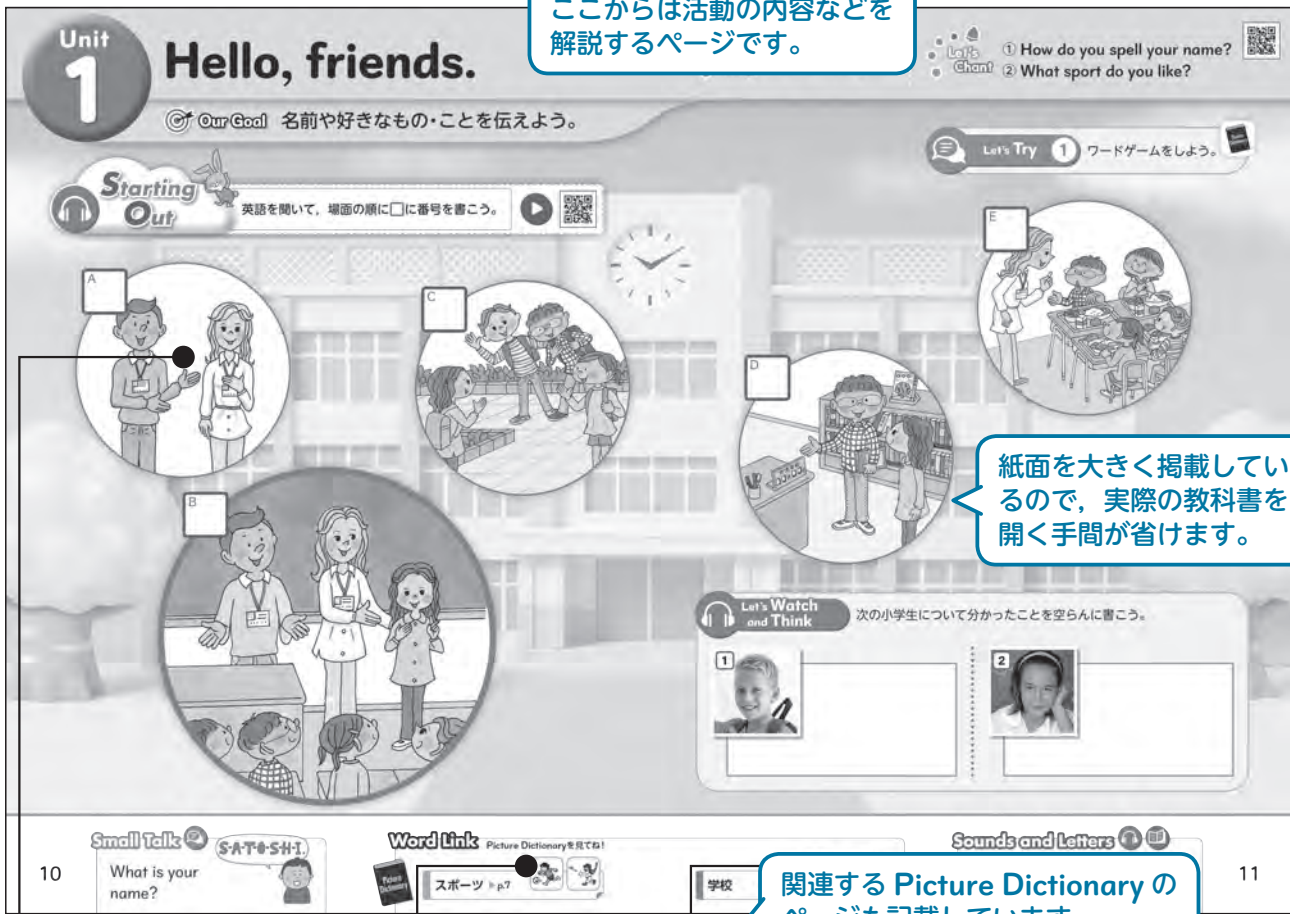
紙面などを横の流れで表示し、全体像が把握しやすいデザインとしました。

主に扱う4技能(5領域)と、評価の観点を示しています。

	Enjoy Communication (2 時間)					Over the Horizon (2 時間)								
該当ページ														
目標	名刺交換をしよう。					世界の名前について考えよう。								
学習内容など	巻末コミュニケーションカード(名刺カード)に、自分の名前を大文字で書いて、ペアでつづりをたずね合う。続けてカードに自分の好きなもの・ことの絵を描いてペアでたずね合う。最後の Step 3 では、さらに1~2枚の名刺カードを作成し、ペア活動とは異なる数人の友達と伝え合う活動をする。引き続きアルファベットの大文字の名前が認識し、正しく書くことができるように指導する。					アメリカ、ベトナム、サウジアラビアの子供たちの名前を学習しながら、日本の名前との違いについて考える。姓と名、名前の由来などについても学習する。「日本のすてき」のコーナーでは、北海道に住むオーストラリア人のロスさんへのインタビューを聞く。学習した英語が実際に使われる場面に触れ、児童はもっと学びたいという動機を高めるだろう。								
四技能	聞く	話す (やり取り)	話す (発表)	読む	書く	聞く	話す (やり取り)	話す (発表)	読む	書く				
評価		◎			○					○				
	知識・技能			思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度		知識・技能			思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度	
				◎		○							○	



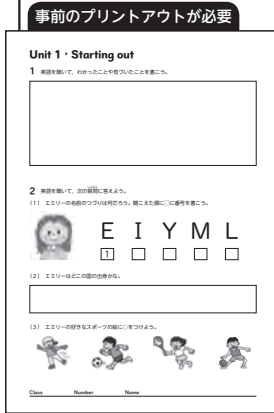
音に  
出会う Starting Out (pp.10-17)



ここからは活動の内容などを解説するページです。

紙面を大きく掲載しているので、実際の教科書を開く手間が省けます。

関連する Picture Dictionary のページも記載しています。



ワークシート (Starting Out)



Picture Dictionary スポーツ▶ p.7



Picture Dictionary 学校▶ p.24

**一言メモ**  
Hi, English は 5 年生の冒頭だけ行われる活動である。そのため、この活動が入る分だけ、活動の時間配分が難しくなる可能性がある。その場合は繰り返し行う Let's Sing や Small Talk を次時以降にまわすなど、柔軟な対応をしたい。

**めあて**  
◎自己紹介などのやり取りのおおよその内容を理解しよう。  
【1時・2時共通】 名前や好きなもの・ことについてのやり取りについて、おおよその内容を理解しよう。

各部分のめあてと言語材料をコンパクトにまとめています。

**言語材料**  
【表現】 How do you spell your name? E-M-I-L-Y. Emly. What sport do you like? I like ~. I don't like ~. What is your name? I'm ~. My name is ~. I'm from ~. Hi. Hello. Nice to meet you. など  
【単語】 スポーツ (soccer など) , 学校 (library など)

**Hi, English!**  
Hi, English (pp.2-3)は、英語の授業を開始する前に、それを学習する理由や意義を児童に考えさせる大切な活動となる。児童が持つさまざまなイメージを拾い上げ、「英語を学びたい!」と思わせる授業の導入としたい。

**Starting Out**  
4月にはクラス替えなど新しい友達や先生と出会う時期である。ここではそんな季節に、学校場面で聞こえてきそうな内容の会話を聞き、表現に慣れ親しませる活動である。

最初にすべての音声を聞き、場面を推測して聞こえた順に番号を空欄に記入させる。また、色で囲まれている B (No.3)には、この単元で学習する主な表現がまとめられており、それらに慣れ親しませることで、次の Your Turn につなげていく。

No. 1では新しい転校生のエミリーに出会う。登場人物たちは名前を言い、ルーカスは出身地も言う(答えは C)。No. 2では担任の田中先生が新しい ALT のグリーン先生を紹介している。グリーン先生は自己紹介として名前、出身地、好きなこと、そして演奏できる楽器とそうでない楽器について話している(答えは A)。No. 3はこの単元で取り扱う表現が出ている最重要となる会話である。児童は名前のつづりや好きなスポーツを言うエミリーから、それらの表現方法を学ぶ(答えは B)。No. 4では給食時間、グリーン先生に「おいしい」という言葉を英語で何と言うのか聞いている(答えは E)。No. 5では図書室でエミリーがひろしに英語の本があるのかをたずね、図書館カードがほしいと言っている(答えは D)。

活動の前にはワークシート (WS) を配布し、1時間目は全体の音声を流し、番号を記入させるとともに、わかったことなどを WS に記入させ、児童の積極的な取り組みを引き出してもよい。2時間目は特に No.3 の会話から、WS に答えを記入させる。

**Let's Try 1**  
後述の Word Link のスポーツ (PD の p.7)、学校 (p.24) の単語を復唱したあとに行う活動である。指導案の中では、指導者が言う単語の絵を指でさしたりするポインティングゲームを紹介しているが、それ以外のゲームも児童の実態に応じて適宜行いたい。指導書付属の『小学校英語活動レシピ』から活動を選んでもよい。

**Let's Watch and Think**  
ここでは、Starting Out の活動を改めて復習し、Your Turn につなげる。イラストではなくリアルな映像や写真で、より児童に英語を学んでいる意識を高め

たい。ふたりの子供の自己紹介を聞く。No. 1 のアメリカ出身のアダム (ADAM) は、すしが好き。No. 2 のメキシコ出身のケイト (KATE) は、水泳がとても好き。

**Let's Sing**  
中学年の既習内容も多く、児童はおおよその内容をすぐに理解できるだろう。この歌では、時間に応じたあいさつに慣れ親しませたい。Picture Dictionary の p.14 を使って、morning (朝、午前)、afternoon (午後)、evening (夕暮れ、晩) を確認させる、そして歌詞にはないが、「おやすみなさい。」の Good night. も取り上げる。次時以降も始業時のあいさつなどで適宜扱いたい。また、Enjoy Communication で使用するタイトルの「Nice to meet you.」の表現にも慣れ親しませる。

**Let's Chant**  
① How do you spell your name? は本単元での学習項目である名前のつづりを言う活動に直結する。大文字の復習にも役立つので効果的に使用したい。② What sport do you like? は内容が簡単で、児童はすぐ言えるようになるだろう。内容に合わせてどちらかを選択する。

**Small Talk**  
学習した表現を復習する形で先生が質問し、児童が答える形をとる。My name is ~. や I'm ~. の表現を用いて名前を答えさせる。できれば文字のつづりの表現も加えたい。

**Word Link**  
教科となった英語科では、単語理解の定着も大切である。第1時目は Starting Out の No.3 におけるエミリーの「I like soccer.」を、第2時目は No.5 のひろしの「This is our library.」をきっかけに、Picture Dictionary の「スポーツ」(p.7) と「学校」(p.24) をそれぞれ学習させる。最初に指導者用絵カードを使用しながら単語を導入してもよい。

最後に単語の知識を深めるために、下記のようなクイズを行ってもよい。単語を丸覚えするだけでなく、答えを考えることで児童の好奇心は活性化する。

- 【スポーツに関する質問例】
- ① What are winter sports?  
(冬のスポーツにはどんなものがありますか。)
  - ② Tell me three sports that you use a ball.  
(ボールを使うスポーツを3つ教えてください。)

**Sounds and Letters**  
指導者用デジタルブックのアルファベットチャートや巻末の文字カードなどを用い、大文字の名前を復習する。それぞれの文字の名前を理解し、言えるように指導する。



会話に慣れる Your Turn

(pp.12-13)

Unit 1

**Your Turn** 名前のつづりや好きなもの・ことをたずね合おう。

**Let's Listen 1** 登場人物の好ききらいを聞いて、線で結ぼう。

1 Emily Lucas Sakura Hiroshi

2 色、スポーツ、食べ物について、それぞれ何が好きかをたずね合い、表に書こう。

名前	colors	sports	food
先生			
(例) さくら	青	バレーボール	サラダ
友達			

What color do you like?  
I like blue.

**Let's Listen 2** 聞こえた名前をメモして、□で囲もう。

H	I	R	O	S	H	I	J
F	K	E	L	U	C	A	S
B	I	Z	S	O	E	I	H
E	A	R	A	K	M	F	D
C	L	Y	K	I	I	G	S
K	A	V	U	L	L	H	G
Y	D	T	R	E	Y	H	N
P	S	A	A	L	W	Q	A

How do you spell your name?  
S-A-K-U-R-A. Sakura.

**Let's Try 2** 自分の好きな色と食べ物について、に巻末絵カードを書きながら考えよう。

●自分の似顔絵をかこう。 ●1を4線に書こう。

I like like

●自分の名前をローマ字で書こう。 ●1を4線に書こう。

I like like

**Small Talk** What sport do you like?

**Word Link** Picture Dictionary を見てね!

授業中に先生が使用する表現(いわゆるクラスルームイングリッシュ)も適宜、掲載しています。

指導者の表現例

- Do you want to listen again? (もう一度聞きたいですか。)
- Check the answer. (答え合わせをしましょう。)
- Say the number of the picture that I'll say/call out. (私が言う絵の番号を言ってください。)



Picture Dictionary 色▶ p.6



Picture Dictionary 食べ物▶ p.8

めあて

- ◎名前のつづりや好きなもの・ことをたずね合おう。
- 【第1時】好きなもの・ことなどについてたずね合おう。
- 【第2時】Iや自分の名前をローマ字で書こう。語順を意識して好きな色と食べ物を表現しよう。

言語材料

- 【表現】How do you spell your name? S-A-K-U-R-A. I like ~. I don't like ~. What(color/sport/food)do you like? など
- 【単語】色(red など), スポーツ(soccer など), 食べ物(rice など)

Let's Listen 1

音声を聞いて内容を理解するだけでなく、しっかり使いこなせるように、その知識の定着を図るのがYour Turnである。最初に好き・好きではないを表現したイラストと色、スポーツのイラストをもとに、I like~.とI don't like~.を復習する。否定文のI don't like ~.は十分に定着していない表現かもしれないので、ていねいに指導する必要がある。そのあとに音声を流し、登場人物の好き嫌いを線で結ぶ。

- ① エミリーはサッカーが好きだが、卓球は好きではない。
  - ② ルーカスは赤が好きだが、白は好きではない。
  - ③ さくらはバレーボールが好きだが、野球は好きではない。
  - ④ ひろしは黄色が好きだが、黒は好きではない。
- という内容であるが、それぞれ名前のつづり方も紹介される。

Let's Try 2

今まで聞いてきた言語材料を使って、好きな色、スポーツ、食べ物について友達にたずねたり、答えたりする活動である。食べ物の単語は、次時のWord Linkで復習するので、中学年で既習内容の範囲でやり取りさせる。分からない場合は、Picture Dictionaryのpp.8-9を参照させてもよい。

最初に、ALTや児童とWhat color/sport/food do you like? — I like blue. というやり取りを確認する。次に、指導者の好きな色、スポーツ、食べ物を児童にたずねるように指示する。それぞれの質問に指導者が答え、その答えを日本語で空欄に記入させる。このやり取りをモデルとして、児童どうしが横でペアを作り、質問したり答えたりする。

次に前後ペアになり、同様の活動をする。ペア活動ではクリアに話すこと、相手と適切なアイコンタクトを取るなどを心がけるように指導する。

Let's Listen 2

ここでは、今まで学習してきた名前のスペルを聞く活動を通して、児童が名前のスペルについてのやり取りが理解できるように指導する。アルファベットの大文字の名前の復習も兼ねている。この活動の前に、Let's Chant 1のHow do you spell your name?を聞いていれば、チャンツを通して自然にこの表現が出てくるようになるだろう。

そのあと、この活動の音声を流し、聞こえた名前やそのつづりをメモしながら、正しい文字群を探し、それを○で囲むように指示する。

Let's Try 3

自分の好きな色と食べ物を表す文の構造を、巻末の絵カードを使いながら、考える活動である。最初に似顔絵と英語の大文字での名前の記入をさせる。

そのあとに「I」を書かせることで、「わたし」という概念を定着させる。わたしを表す「I」はとても大切で、ほかのyou, he, she, theyなどと異なり、この世で唯一の存在なので、英語ではどんな場合でも大文字で表わすことを伝える(ただし、最近ではカジュアルなメールなどで、小文字を使う人も多いこともある)。

次に巻末の絵カードから好きな色と食べ物を選び、□に置かせる。この活動を通して児童は文の構造を視覚化することができるようになり、目的語にあたる語がlikeのあとにくることに意識を向けるようになるだろう。

Small Talk

ここではWhat sport do you like?と先生がたずね、児童は自分の好きなスポーツを答える。I like~.だけでなく、Do you like~?などの表現を使ってI don't like~.を引き出せば、Let's Listen 1に対するよい導入となる。なるべく長く会話を続けるために、Me, too.やPardon?などの表現を教えることも今後、必要になってくる。

Word Link

ここでは色(PDのp.6)や食べ物(PDのp.8)の単語を扱う。食べ物の単語は数が多いが、既に慣れ親しんでいる単語もたくさんあるので、児童にとって分かりづらい単語のみ扱う形でもよいだろう。

Sounds and Letters

大文字の名前の認識に関する活動を終え、ここからは大文字を書く練習が始まる。教科書のp.86でA~Gを、p.87にかけてH~Nを練習する。書き順などを参考に字を書いていくが、大切なのは文字を書く際、その名前を言いながら書くことである。児童は中学年から英語のアルファベットに関してはローマ字学習を通してふれている。しかし、アルファベットの名前の言い方はローマ字の学習とはまったく異なり、英語の音で正しく認識し、産出する必要がある。文字を書くときも文字の名前を正確に発音しながら書くことで、さらにのちに学習する英語の音にも親しむことができるのである。

時間がない場合は一つだけ書かせ、あとは宿題にすることもできる。逆に時間がある場合は先に進んでもよい。そうすれば、次時の巻末コミュニケーションカード(名刺カード)を書く活動の前に、児童は大部分の大文字を書く活動を終えることになる。



# 楽しむ Enjoy Communication (pp.14-15)

Unit 1

Step 1: 自分の名前をカードに書いて、ペアでつづりをたずね合おう。  
How do you spell your name?  
E-M-I-L-Y. Emily.

Step 2: 好きなもの・この絵をかいたら、ペアでたずね合おう。  
What sport do you like?  
I like soccer.

Step 3: 友達と、名前や好きなもの・ことについてやり取りをしながら、名刺交換をしよう。  
Nice to meet you. Nice to meet you, too.

Tips: 使った名刺カードは p.34 にほうろう。



四線の上に名前(名)を大文字、下の空欄に好きなものなどの絵を描かせる。時間がない場合は日本語で記入させてもよい。

### 指導者の表現例

- ・ Have good eye contact. (相手の目をしっかり見ましょう。)
- ・ Please speak clearly. (はっきり話しましょう。)
- ・ Don't forget to say hello at first. (最初に「Hello.」と言うのを忘れないでください。)
- ・ Exchange your card (after your introduction). (自己紹介の後にカードを交換してください。)
- ・ Walk around and find a partner. (歩いてパートナーを見つけましょう。)

**めあて**

◎名刺交換をしよう。  
【第1時】自分の名前と好きなもの・ことをかいた名刺を作り、伝え合おう。  
【第2時】名刺交換を通して、名前や好きなもの・ことなどを伝え合おう。

**言語材料**

【表現】How do you spell your name? E-M-I-L-Y. Emily. What (sport/color/food) do you like? I like ~. Hello. Nice to meet you. Nice to meet you, too.  
【単語】スポーツ(soccer など)、色(red など)、食べ物(pizza など)

## 概要と準備

本パートでは、巻末コミュニケーションカード(名刺カード)を作成し、それを使用しながら、自己紹介する。ていねいに順を追った活動で、全員の児童が英語で積極的にコミュニケーションするように動機付けたい。名刺カードは巻末に2枚分用意してあるが、できれば合わせて最低3枚は用意したい。そのためにはワークシート編を使って、あらかじめ各児童用に少なくとも1枚ずつ余分に印刷しておく必要がある。児童に好きな動物や番号などの活動をさせてもよいが、その場合はさらに人数分のカードのコピーを用意する必要がある。

活動の全体像をつかむために、指導者用デジタルブックの映像を使用すると効果的である。

## Step 1

最初に巻末コミュニケーションカードを1枚切って用意させる。次に、カードに自分の名前(名)を4線の上に大文字で書くように指示する。ALT(または児童)と教科書のモデル会話を行う。

なお、ここではすべての大文字を練習する前に、名刺カードの4線を書くことになる。そのため、名前の中にまだ練習していないアルファベットが使用されている児童には、p.85を参照させて書き写すようにさせるか、先に該当する文字についてだけ練習させてからカードに記入させてもよい。そのほかには、Sounds and Lettersの順番を変更して、活動前に行うなどの方法も考えられる。

## Step 2

カードの名前の下に自分の好きなスポーツを描くように指示する。絵を描くのが苦手な児童がいる場合は、前時の終了後にチラシを切って持ってくるよう指示させて、それを貼らせる方法なども考えられる。時間がない場合は、日本語で記入させるだけでもよい。

そのあと指導者はALT(または児童)とモデル会話を行う。Picture Dictionaryの表紙裏にある、How about you?(あなたはどうか?)を教えると、スムーズな会話になることを伝えてもよい。

Step 1と同様に、モデルにならってペアで会話をさせる。このときもカードを見ないかわりに、相手をしっかり見て、クリアな声で英語を言うように助言する。

## Step 3

巻末にあるもう1枚のカードを切り取らせたと、あらかじめ用意していた追加の名刺カードを配布する。1枚目には好きな動物、もう1枚には好きな食べ物を描くように指示する。絵を描くことが目的ではないので、あまり時間をかけないようにする。活動に入る前に、前時で作ったスポーツカードも合わ

せて、3枚カードを持っていることを確認する。

始まりのあいさつの“Hello!”と、終わりのあいさつの“Nice to meet you.”を指導者によるモデル会話を通じて確認する。“Nice to meet you.”は歌で繰り返し発話しているが、ここでは「わたし“も”あえてうれしい」という“Nice to meet you, too.”をとくに発話させたい。最初にスポーツカードを持ち、ALT(または児童)とQRコードの音声にあるようなモデル会話を実演する。下に例をあげる。

Aoi: Hi! I'm Aoi.  
Shoma: Hello. My name is Shoma.  
Aoi: How do you spell your name?  
Shoma: S-H-O-M-A. Shoma.  
Aoi: How do you spell your name?  
Aoi: A-O-I. Aoi.  
Shoma: What sport do you like?  
Shoma: I like tennis.  
Aoi: What sport do you like?  
Aoi: I like soccer.  
Shoma: Nice to meet you.  
Shoma: Nice to meet you, too.

モデル会話をもとに、クラスを歩きながら出会った友達とペアになり、最後にカードを交換するよう指示する。続いて2番目として色カードを、そして最後に食べ物カードを使って、同様の活動をするように指示を出す。活動の際、英語を話していることを意識し、Clear Voice, Eye Contact, Smiles, Gesturesをするように助言する。活動が終了したら、もとの持ち主にカードを返させ、自分のカードで一番のお気に入りを入りをp.34に貼らせる。

## Small Talk

名刺交換でも扱う、色をたずねるWhat color do you like?とたずねるSmall Talkを通じて、Enjoy Communicationの活動の導入としたい。加えて、できれば既に単語の練習を行っている食べ物などについても聞くことで、児童は安心して活動を行うことができる。

## Sounds and Letters

教科書のp.87のO~TとU~Zを練習する。ここでも文字を書く際、その名前を言いながら書くことを徹底させたい。このパートでは前述のように、名刺カードに4線を書く活動を、すべての大文字を書く練習が終わる前に行うことになる。そのため、児童の状況に合わせて、名刺を作成する前にこの活動を行うなど、柔軟なカリキュラム編成を行ってもよい。



世界を  
広げる **Over the Horizon**

(pp.16-17)

The page is divided into several sections:
 

- Do you know?**: A section where students learn about names from different countries. It shows examples like Olivia Monika Johnson (USA), Nguyen Thi Thuy (Vietnam), and Muhammad Abdullah Hussain Ahmad (Saudi Arabia).
- Challenge**: A section titled '姓と名の順番' (Name and Surname Order) explaining the difference between Western (Last name first) and Japanese (First name first) naming conventions. It includes a quiz 'どんな意味かな?' (What does it mean?) with names like Smith, MacDonald, Newton, and Woods.
- Small Talk**: A section titled 'What fruit do you like?' with a drawing of a pineapple.
- Interview**: A section titled '日本のすてき' (Nice Japan) featuring an interview with Ross Findlay (ロース・フィンドレーさん) from Hokkaido.

一言メモ

学習した英語をもとに、他教科の知識などと融合を図りながら、児童の視野を広げていくことが目的のパートである。また、Enjoy Communicationのパートが2時間で終わらなかった場合などには、単元の時間調整に使用することも可能である。例えば、7/8時間の最初の20分ほどをEnjoy CommunicationのStep 3にあて、残りの時間で“Do you know”と“Challenge”を行うことができる。

指導者の表現例

- ・ Let's think about names in the world. (世界の名前について考えてみましょう。)
- ・ What's your family name? (あなたの姓はなんですか。)
- ・ What does each name mean? (それぞれの名前はどのような意味でしょうか。)
- ・ What is his job? / What does he do? (彼の仕事は何ですか。)

- めあて
- ◎世界の名前について考えよう。
  - 【第1時】世界の名前について考え、世界と日本についての理解を深めよう。
  - 【第2時】英語と日本語との違いを知り、世界と日本についての理解を深めよう。

- 言語材料
- 【言語材料】 I'm ~. My family name is ~. Let's go to ~. Are you ~? Where are you from? Where do you live? I live in ~. What is your job? Is ~ good?
- 【単語】 adventure guide, rafting, tour, mountain, biking, summer, winter, snow, come, enjoy, outdoor activities

概要

ここでは単元に関連する事柄を中心に文化や慣習に関することを学ぶ「Do you know?」、それを土台にして英語に挑戦する「Challenge」、英語と日本語の違いについて学習する「ことば探検」、日本に住む外国人へのインタビューを聞く「日本のすてき」という主に4つのコーナーで構成されている。児童の英語学習に向かう態度を積極的に保つことができるよう、これらの活動を有効的に使用したい。

Do you know?

アメリカ、ベトナム、サウジアラビアの子供たちの名前を通して、異なる慣習について考える。姓名の並び方、姓と名の間にある名前の持つ意味などを一緒に考える活動で、できるだけ児童から考えや意見を引き出したい。なお、紙面の内容の説明には以下のようなことが考えられる。

アメリカのミドルネームのつけ方に明確な基準はないが、親しかった故人を偲んでその名を用いたり、母親の旧姓を用いたりすることもある。

ベトナムの中間名については、かつては男の子にはヴァン、女の子にはチーと名づけることが多かったという。現在では以前より自由につけるようになっている。

サウジアラビアの男性の名前は、先祖代々の名前を連ねた形となる。ここでは、ひいおじいさんまでとなっているが、実際は何代連ねてもよい。パスポートではおじいさんまでの名前を書くようになって

いる。そのような説明の後、名前に関連するクイズに移ることになる。正解は、Smith → ④, MacDonald → ②, Newton → ③, Woods → ①である。他に下記のような情報も面白いかもしれない(正解は下線)。

- ① 次の5つの名前の中で、アメリカで一番多い名前は?(Brown, Smith, Williams, Johnson, Jones)
- ② 次の5つの名前の中でイギリスの女の子に一番多い名前は?(Emily, Amelia, Sophia, Lily, Olivia)

Challenge

名前に関連し、今まではfirst name(名)を中心に勉強してきた。ここではMy family name is ~.のように、姓を言う表現を学習する。指導者がまず自分の名前を使い、I'm Yuji(名). My family name is Tanaka(姓).と自己紹介のモデルを見せる。モデルに合わせてペアで練習するように指示する。

できれば“My family name is ~.”とだけ伝えるのではなく、Enjoy Communicationで学習した“Nice to meet you.” “Nice to meet you, too.”に加え、“How about you?”などといったPicture Dictionary

の「こんなときどう言うの?」(表紙裏)などの表現も適宜触れさせていきたい。

ことば探検

自分のことを何と何と言うのか、児童と一緒に考える活動である。紙面で掲載されている例のほかにも、自分、おいら、おれ、あたし、わし、あたくし、わい、などがあげられるだろう。日本語と英語を比べてどんなことを感じたのか書くように指示し、気持ちを発表させる。英語では、自分のことを示す表現はIだけだが、日本語にはたくさんの表現があることに気づかせたい。

日本のすてき

ニセコでアドベンチャーガイドとして働いているロス・フィンドレーさんについて学ぶ。全体の音声を1回流し、まずは仕事について情報を得るように指示する。仕事の内容を確かめてから、以下のような聞き取りのヒントを与える。2回聞かせながら、教科書に分かったことを記入させる(ヒントを板書してもよい)。

- 1) 出身地 → オーストラリア
- 2) 今住んでいるところは? → ニセコ(北海道南西部)
- 3) 夏の好きなスポーツ → ラフティングとマウンテンバイキング
- 4) 冬の好きなスポーツ → スキー

ニセコは雪質がよいことで知られており、香港や中国などアジア各国のほか、オーストラリアやアメリカから多数の観光客が訪れることを伝えてもよいだろう。

Small Talk

中学年で十分に慣れ親しんだ果物を題材としたSmall Talkである。Picture Dictionaryのp.10を参照させてもよい。What fruit do you like?だけでなく時間がある場合は、What animal do you like?などのやり取りを取り入れることも可能。

Sounds and Letters

教科書p.92の大文字のBINGOをする。まず指導者が16文字を選定する(できれば指導者絵カードも用意しておく)。次に指導者はそれらの文字を言い、児童はボックスに言われた16文字の一つずつ好きなところに記入する。すべての文字を言い終えたのち、Let's start BINGO!と言いながら16文字を(絵カードを示しながら)言う。縦、横、斜めの列にあるすべての文字が読まれればBINGOとなる。

文字理解がまだ十分でない児童のために、文字を言う度に絵カードを見せて確認させる。



Unit 1 Hello, friends! (pp.10-11) **1** / 8時間

ここからは指導の流れをご説明するページです。

- めあて** 自己紹介や好きなもの・ことなどのやり取りについて、おおよその内容を理解
- 主な表現** How do you spell your name? E-M-I-L-Y. Emily. What sport do you like?
- 準備** 指導者用デジタルブック、ピクチャーディクショナリー(PD)、ワークシート(WS)、教師用絵カード

めあてや言語材料、授業準備をコンパクトにまとめました。

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 10分	児童の活動を示しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の体調の表現、天気などについて聞く。</li> <li>How are you today? How is the weather?</li> </ul>	
	<b>[Let's Sing]</b> Nice to meet you. • 曲を聞き、歌えるところを歌う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一度曲を流し、内容について質問する。</li> <li>PDのp.14「一日の時間」を見せてもよい。</li> <li>曲を再度流し、歌えるところを歌うように励ます。</li> </ul>	指導者用デジタルブック
	<b>[Let's Chant]</b> ① How do you spell your name? 言えるところを言う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一度チャンツを流し、内容について質問する。</li> <li>チャンツを再度流し、言えるところを言うように励ます。</li> </ul>	
展開 27分	<b>[Word Link]</b> PDのp.7 <b>[スポーツ]</b> • スポーツの単語を復唱する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声を使って、スポーツの単語を復唱させる。</li> </ul>	PD
	<b>[Let's Try 1]</b> ポインティングゲーム • 言われたPDの単語に触る。 • 指導者の指す絵カードの単語を言う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者が言ったPDの単語に触る。</li> <li>指導者が指す絵カードの単語を言う。</li> </ul>	指導者用絵カード
	<b>[Starting Out]</b> • No.1~5(2:50)の音声を聞いて、A~Eの□に聞こえた順に番号を記入する。 • WSの1に音声を聞いてわかったこと、気付いたことを記入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの絵の場面や登場人物の名前などを確認する。</li> <li>No. 1~5の音声を聞いて、A~Eの□に聞こえた順に番号を記入させる。</li> <li>答え合わせをする。</li> <li>WSを配り、音声を再度聞かせ、わかったことや気付いたことをWSの1に記入させる。必要であれば複数回聞かせる。</li> <li>聞き取れたこと、気付いたことなどを発表させる。</li> <li>No. 3(Bの音声)をもう一度流す。</li> </ul>	指導者用デジタルブック、WS
文字指導 5分	<b>[Sounds and Letters]</b> • 文字カードを机の上に並べる。 • 指導者が言う文字のカードを見せる。 • 指導者が示す絵カードの名前を言う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルファベットチャートで大文字の名前を確認する。</li> <li>巻末の大文字のカードを机の上に並べさせる。</li> <li>指導者は文字の名前を言い、児童にそのカードを指導者に見せるようにする。</li> <li>指導者は絵カードを見せ、児童に名前を言わせる。</li> </ul>	指導者用デジタルブック、巻末絵カード、教師用絵カード
まとめ 3分	• 挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時をふり返り、児童の良かったところをほめる。</li> <li>挨拶をする。</li> </ul>	ふり返りシート

「導入」では歌やチャンツなどで、英語を学習する気を盛り上げます。

「展開」はコミュニケーション活動が中心となります。

文字指導も毎時間取り上げています。短時間学習にも適しています。

先生が行う活動です。紙面が許す限り詳しく説明しています。

各活動で使用する準備物もアイコン付でわかりやすく記載。

「まとめ」では2時間に一度、「ふりかえりシート」に記入します。

Unit 1 Hello, friends! (pp.10-11) **2** / 8時間

- めあて** 自己紹介や好きなもの・ことなどについてのおおよその内容を理解しよう。
- 主な表現** How do you spell your name? E-M-I-L-Y. Emily. What sport do you like? など
- 準備** 指導者用デジタルブック、ピクチャーディクショナリー(PD)、ワークシート(WS)、教師用絵カード、ふり返りシート

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 8分	• 挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の体調の表現、天気などについて聞く。</li> <li>How are you today? How is the weather?</li> </ul>	
	<b>[Let's Sing]</b> Nice to meet you. • 元気に歌う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が歌いづらい単語や表現を練習する。</li> <li>音声とともに歌う。</li> </ul>	指導者用デジタルブック
	<b>[Let's Chant]</b> ② What sport do you like? • チャンツを聞き、言えるところを言う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一度チャンツを流し、内容について質問する。</li> <li>チャンツを再度流し、言えるところを言うように励ます。</li> </ul>	
展開 27分	<b>[Word Link]</b> PDのp.24 <b>[学校]</b> • 学校の単語を復唱する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声を使って、学校の単語を復唱させる。</li> </ul>	PD
	<b>[Let's Try 1]</b> ポインティングゲーム • 言われたPDの単語に触る。 • 指導者の指す絵カードの単語を言う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者が言ったPDの単語に触らせる。</li> <li>指導者が出した絵カードの単語を言わせる。</li> </ul>	教師用絵カード
	<b>[Starting Out]</b> • WSの1を見ながら、No.1~5の音声を聞く。 • No. 3(B)の音声を聞き、WSの2に答えを記入する。 • 答え合わせをする。 • No. 3(B)の音声をもう一度聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>WSを配り、WSの1を確認した上で、No. 1~5の音声を聞くように指示する。I'm from~.の表現を確認する。</li> <li>No. 3(B)の音声を聞かせて、WSの2に答えを記入させる。必要であれば、複数回聞かせる。</li> <li>答え合わせをする。</li> <li>No. 3(B)の音声をもう一度聞かせる。</li> </ul>	指導者用デジタルブック、WS
文字指導 5分	<b>[Let's Watch and Think]</b> • 音声を聞いて、わかったことを教科書に書き込む。 • わかったことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>名前、出身地、好きなことなどのポイントを押さえて聞くように指導する。児童の理解度に合わせて何回か聞かせてもよい。</li> <li>わかったことを発表するときに、アメリカやメキシコについて知っていることを発表させる。</li> </ul>	指導者用デジタルブック
	<b>[Sounds and Letters]</b> • 文字カードを机の上に並べる。 • 指導者が言う文字のカードを見せる。 • 指導者が示す絵カードの名前を言う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルファベットチャートで大文字の名前を確認する。</li> <li>巻末の大文字カードを机の上に並べさせる。</li> <li>指導者は文字の名前を言い、児童にそのカードを指導者に見せるようにする。</li> <li>指導者が絵カードを見せ、児童に名前を言わせる。</li> </ul>	指導者用デジタルブック、巻末絵カード、教師用絵カード
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時および本時の活動を振り返る。</li> <li>ふり返りシートに記入する。</li> <li>挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時を振り返り、児童の良かったところをほめる。</li> <li>ふり返りシートに記入させる(2時間分)。</li> <li>挨拶をする。</li> </ul>	ふり返りシート



Unit 1 Hello, friends! (pp.12-13) 3/8時間




- めあて 好きなもの・ことなどについてたずね合おう。
- 主な表現 I like ～. I don't like ～. What (color/sport/food) do you like? など
- 準備 指導者用デジタルブック, ピクチャーディクショナリー(PD)

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 10分	• 挨拶をする。	• 既習の体調の表現, 天気などについて聞く How are you today? How is the weather?	
	<b>[Let's Sing]</b> Nice to meet you. • 元気に歌う。	• 児童が歌いづらい単語や表現を練習する。 • 音声とともに歌う。	
	<b>[Let's Chant]</b> ② What sport do you like? • チャンツを聞き, 言う。	• チャンツを流し, 一緒に言う。	
	<b>[Small Talk]</b> • 先生からの問いに I like(スポーツ), と答える。	• 自分(指導者)の好きなスポーツを紹介する。 • What sport do you like? と児童にたずねる。 • PD の p.7(スポーツ)を参照させてもよい。	
展開 27分	<b>[Word Link]</b> PD の p.6(色) • 色の単語を復唱する。	• 音声を使って, 色の単語を復唱させる。	
	<b>[Let's Listen 1]</b> • I like ～. と I don't like ～. を確認する。 • 音声を聞きながら, 登場人物の好き嫌いを線で結ぶ。 • 答え合わせをする。	• I like ～. と I don't like ～. を使ったモデル会話を通じて, 表現を確認させる。 • 音声を流して, 登場人物の好き嫌いを線を結ばせる。	
	<b>[Let's Try 2]</b> • 活動のモデルとして, 先生の好きなものを空欄に記入する。 • ペアになって好きなものをたずね合い, 空欄に記入する。	• What (color/sport/food) do you like? — I like～. のやり取りを練習する。 • PD で色(p.6)やスポーツ(p.7), 食べ物(p.8)の単語を確認させてもよい。 • 活動のモデルとして, 児童に質問させ(例: What color do you like?), 指導者が答え(例: I like red.)を言う。教科書に日本語で答えを記入させる。 • 同様にスポーツと食べ物についても行う。 • 横のペア, 前後のペアという順番で行う。 【評価】◎知(好きなもの・ことなどについてのやり取りで使用される語句や表現が身につけている) ○思(好きなもの・ことなどについて, 学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして, やり取りをしている)	
文字指導 5分	<b>[Sounds and Letters]</b> • 大文字の A～G の名前を言いながら書く。	• アルファベットチャートで大文字の名前を確認する。 • p.86 に大文字の A～G を名前を言いながら書かせる(時間が足りない場合は宿題にする)。 【評価】* 知(アルファベットの A～G を書くことができる)	
まとめ 3分	• 挨拶をする。	• 本時をふり返り, 児童の良かったところをほめる。 • 挨拶をする。	

Your Turn の活動では, 音声を聞いたり, コミュニケーション活動を行ったりします。

Unit 1 Hello, friends! (pp.12-13) 4/8時間

- めあて I や自分の名前をローマ字で書こう。語順を意識して好きな色と食べ物を表現しよう。
- 主な表現 How do you spell your name? S-A-K-U-R-A. Sakura. I like ～. など
- 準備 指導者用デジタルブック, ピクチャーディクショナリー(PD), ふり返りシート

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 8分	• 挨拶をする。	• 既習の体調の表現, 天気などについて聞く How are you today? How is the weather?	
	<b>[Let's Sing]</b> Nice to meet you. • 元気に歌う。	• 児童が歌いづらい単語や表現を練習する。 • 音声とともに歌う。	
	<b>[Let's Chant]</b> ① How do you spell your name? • チャンツを聞き, 歌う。	• チャンツを流し, 一緒に言う。	
展開 27分	<b>[Word Link]</b> PD の p.6(食べ物) • 食べ物の単語を復唱する。	• 音声を使って, 食べ物の単語を復唱させる。	
	<b>[Let's Listen 2]</b> • 文字の名前を復唱する。 • 聞こえた登場人物の名前のつづりを囲む。 • 時間があれば, ペアで名前のつづりをたずね合う活動を行う。	• アルファベットチャートを使って, 文字の名前を復唱する。 • 音声を聞かせて, 該当する文字(つづり)を囲ませる。正しい文字群を見つけるように指導する。 • 時間があれば, ペア活動を通して, 名前のつづりをたずね合うように指導する。	
	<b>[Let's Try 3]</b> • 似顔絵を描き, I と自分の名前を 4 線上に書く。 • 巻末の絵カードを教科書に置く。	• 自己紹介に使う二つの表現を, 文字を見ながら確認する作業であることを伝え, 最初に自分の似顔絵と名前のつづりをかかせる。 • I が「わたし」という意味であることを伝えた上で文字を書かせ, 続いて自分の好きな色と食べ物の巻末カードを切り取って紙面に置くように指示し, 児童の語順に対する気付きを促す。 【評価】◎知(I や自分の名前をローマ字で書く。自分や好きなもの・ことなどについてのやり取りで使用される語句や表現が身につけている)	
文字指導 5分	<b>[Sounds and Letters]</b> • 大文字の H～N の名前を言いながら書く。	• アルファベットチャートで文字の名前を確認する。 • p.86～87 に大文字の H～N を, 名前を言いながら書かせる(時間が足りない場合は宿題にする)。 【評価】* 知(アルファベットの H～N を書くことができる)	
まとめ 5分	• 前時および本時の活動を振り返る。 • ふり返りシートに記入する。 • 挨拶をする。	• 本時を振り返り, 児童の良かったところをほめる。 • ふり返りシートに記入させる(2 時間分)。 • 挨拶をする。	



Unit 1 Hello, friends! (pp.14-15) 5/8時間

- めあて** 自分の名前と好きなもの・ことをかいた名刺を作り、伝え合おう。
- 主な表現** How do you spell your name? E-M-I-L-Y. Emily. What ~ do you like? I like ~. など
- 準備** 指導者用デジタルブック、巻末コミュニケーションカード、色鉛筆など

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 10分	• 挨拶をする。	• 既習の体調の表現、天気などについて聞く How are you today? How is the weather?	
	<b>[Let's Sing]</b> Nice to meet you. • 元気に歌う。	• カラオケ機能などを使いながら歌う。	
	<b>[Let's Chant]</b> ① How do you spell your name? ② What sport do you like? • チャンツを聞き、言う。	• チャンツを流し、一緒に言う。	
	<b>[Small Talk]</b> • 指導者からの質問に I like(色). と答える。	• 自分(指導者)が好きな色を紹介する。 • What color do you like? と児童にたずねる。 • PD の p.6(色)を参照させてもよい。	
展開 27分	<b>[Step 1]</b> • 名刺カードを切り取り、自分の名前を大文字で書く。 • ペアを組んで、名前のつづりをたずね合う。つづりを言う人は、カードを相手に見せながら言うようにする。	• 巻末コミュニケーションカード(名刺カード)を1枚切って用意させる。 • 自分の名前(名)を書くように指示する。分からない場合は、p.85のローマ字表を見るように指導する。 • ALT(または児童)とモデル会話を行う。指導者用デジタルブックを使うこともできる。 • モデルにならってペアで会話をするように指示する。名前のつづりを言うときは、カードを相手に見せながら言うように指示する。 【評価】◎思(名刺を作る活動を通じて、名前のつづりに関して伝え合っている)	 
	<b>[Step 2]</b> • 名刺カードの名前の下に好きなスポーツの絵を描く。 • ペアを組んで、好きなスポーツについてたずね合う。	• 同じカードに自分の好きなスポーツの絵を描くように指示する。 • ALT(または児童)とモデル会話を行う。指導者用デジタルブックを使うこともできる。 • モデルにならってペアで会話をするように指示する。 • 次時にも使用するため、きちんと保管しておくよう指示する。 【評価】○思(名刺を作る活動を通じて、好きなスポーツについて伝え合っている)	
文字指導 5分	<b>[Sounds and Letters]</b> • 大文字のO~Tの名前を言いながら書く。	• アルファベットチャートで文字の名前を確認する。 • p.87の大文字のO~Tを、名前を言いながら書かせる。(時間が足りない場合は宿題とする) 【評価】*知(大文字のO~Tを書くことができる)	
まとめ 3分	• 挨拶をする。	• 本時をふり返り、児童の良かったところをほめる。 • 挨拶をする。	

次時の単元の目標となる活動を行う下地を作ります。

単元のメインとなる活動です。「活動のモデル例」も掲載しています。

Unit 1 Hello, friends! (pp.14-15) 6/8時間

- めあて** 名刺交換を通して、名前や好きなもの・ことなどを伝え合おう。
- 主な表現** Hello. Nice to meet you. How do you spell your name? E-M-I-L-Y. Emily. What ~ do you like? I like ~. など
- 準備** 巻末コミュニケーションカードとそのコピー(人数分)、指導者用デジタルブック、ふり返りシート

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 8分	• 挨拶をする。	• 既習の体調の表現、天気などについて聞く How are you today? How is the weather?	
	<b>[Let's Sing]</b> Nice to meet you. • 元気に歌う。	• カラオケ機能などを使いながら歌う。	
	<b>[Let's Chant]</b> ① How do you spell your name? ② What sport do you like? • チャンツを聞き、言う。	• チャンツを流し、一緒に言う。	
展開 27分	<b>[Step 3]</b> • 新しく2枚のカードに名前と絵などを新たに記入する。 • 3枚の名刺を交換する。 • 新しく作った動物カードと食べ物カードを持ち、同様の活動を行う。 • 使用したカードをp.34に貼る。  [活動モデル例] A: Hi, I'm Aoi. S: Hello, My name is Shoma. A: How do you spell your name? S: S-H-O-M-A. Shoma. How do you spell your name? A: A-O-I. Aoi. Shoma, what sport do you like? S: I like tennis. What sport do you like? A: I like soccer. Nice to meet you. S: Nice to meet you, too. (A=Aoi, S=Shoma)	• 名刺カードを、児童全員に少なくとも追加で1枚は渡せるように、指導書のワークシートから事前に印刷して、配布する。 • 残りの巻末の名刺カードも1枚切り取らせ、新しいカードが合計2枚分あることを確認する。 • 名前とともに、新しいカードの1枚には「好きな動物」、もう1枚には「好きな食べ物」を描かせる。 • 各児童が、前時のスポーツのカードと合わせて3枚カードを持っていることを確認する。 • Hello. / I'm ~. / My name is ~. / Nice to meet you. / Nice to meet you, too. の表現を確認する。 • スポーツのカードを使って、前時と同様にALT(または児童)とモデル会話を行う。指導者用デジタルブックを使うこともできる。 • モデル会話をもとに、「スポーツ」「色」「食べ物」の順に名刺を交換させる。活動ごとに相手を替えさせる。 • 活動が終わった後、カードを本人に戻させる。 • 一番気に入っている1枚をp.34に貼らせる。 【評価】◎思(名刺を交換する活動を通じて、名前のつづりや好きなスポーツなどについて、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、伝え合っている) 【評価】○主(名刺を交換する活動を通じて、名前のつづりや好きなスポーツなどについて、他者に配慮しながら主体的に伝え合おうとしている)	 
	文字指導 5分	<b>[Sounds and Letters]</b> • 大文字のU~Zの名前を言いながら書く。	• アルファベットチャートで文字の名前を確認する。 • p.87の大文字のU~Zを、名前を言いながら書かせる。(時間が足りない場合は宿題とする) 【評価】*知(大文字のU~Zを書くことができる)
まとめ 5分	• ふり返りシートに記入する。 • 挨拶をする。	• 本時を振り返り、児童の良かったところをほめる。 • ふり返りシートに記入させる(2時間分)。 • 挨拶をする	



Unit 1 Hello, friends! (pp.16-17) 7/8時間

- めあて 世界の名前について考え、世界と日本についての理解を深めよう。
- 主な表現 What( )do you like? I like ~. My family name is ~. など
- 準備 指導者用デジタルブック, 指導者用絵カード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 10分	• 挨拶をする。	• 既習の体調の表現, 天気などについて聞く How are you today? How is the weather?	
	<b>[Let's Sing]</b> Nice to meet you. • 元気に歌う。	• カラオケ機能などを使いながら歌う。	
	<b>[Let's Chant]</b> ① How do you spell your name? ② What sport do you like? • チャンツを聞き, 歌う。	• チャンツを流し, 一緒に言う。	
	<b>[Small Talk]</b> • 先生からの質問に I like (果物・野菜), と答える。	• 自分(指導者)が好きな果物を紹介する。 • What fruit do you like? と児童にたずねる。 • PD の p.10(果物・野菜)を参照させてもよい。	
展開 25分	<b>[Do you know?]</b> • アメリカ, ベトナム, サウジアラビアという異なる名前の文化について考えたことや意見を発表する。 • クイズの答えを予想し, 空欄に答えを記入する。 • 答え合わせをする。	• アメリカのオリビアさんの薄くなっている文字をなぞるように指導する。 • アメリカ, ベトナム, サウジアラビアの子供たちの名前を通して, 異なる文化について考えさせる。姓名の並び方, 姓と名の間にある名前の持つ意味など, それぞれの名前の文化について説明する。 • 考えたことや意見を発表させる。 • クイズの答えを予想させ, 空欄に記入させる。 • 答え合わせをする。 【評価】○主(主体的に世界の名前について知ろうとし, 世界と日本についての理解を深めようとしている)	
	<b>[Challenge]</b> • 自分の姓名をペアで伝え合う。	• I'm (名), My family name is (姓), とって自己紹介のモデルを見せることで, My family name is ~, で, 姓を表すことができることに気付かせる。 • モデルに合わせて, ペアで活動するように指示する。 • Enjoy Communication など学習した, Hello. / What is your name? / Nice to meet you. / Nice to meet you, too. などの表現を使うよう指導する。	
文字指導 7分	<b>[Sounds and Letters] BINGO</b> • 指導者が指定した 16 文字を p.92 の BINGO 表に書きこむ。 • 先生が言う文字に○をして BINGO ゲームを行う。	• アルファベットチャートで大文字の名前を確認する。 • 指導者が指定した 16 文字を, p.92 の BINGO のマスの中に自由に書き込ませる。 • 指導者用絵カードをシャフルし, 16 文字を読み上げる。 【評価】* 知(アルファベットの大きな文字を書くことができる)	
まとめ 3分	• 挨拶をする。	• 本時をふり返り, 児童の良かったところをほめる。 • 挨拶をする。	

\* Enjoy Communication の進捗に応じて, 活動を調整ください。

カリキュラム・マネジメントに対応しているパートです。

Unit 1 Hello, friends! (pp.16-17) 8/8時間

- めあて 英語と日本語との違いを知り, 世界と日本についての理解を深めよう。
- 主な表現 My name is ~. I'm ~. I'm from ~. I live in ~. What sport do you like? I like ~. など
- 準備 指導者用デジタルブック, 指導者用絵カード, ふり返しシート

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 8分	• 挨拶をする。	• 既習の体調の表現, 天気などについて聞く How are you today? How is the weather?	
	<b>[Let's Sing]</b> Nice to meet you. • 元気に歌う。	• カラオケ機能などを使いながら歌う。	
	<b>[Let's Chant]</b> ① How do you spell your name? ② What sport do you like? • チャンツを聞き, 歌う。	• チャンツを流し, 一緒に言う。	
展開 25分	<b>[ことば探検]</b> • 英語の「I」にあたる, 自分を表す日本語を空欄に記入し, 発表する。 • 考えたことや気付いたことを記入し, 発表する。	• 英語の「I」にあたる, 「わたし」を表す日本語を空欄に記入させる。記入したことを発表させる。 • 日本語と英語を比べてみてどんなことを感じたのか右のメモ欄に書くように指示する。 • 日本語の表現の豊かさなど, 考えたことや気付いたことを発表させる。 【評価】○主(世界と日本についての理解を深めようとしている)	
	<b>[日本のすてき]</b> Ross Findlay(ロス・フィンドレー)さん • Findlay さんについての映像や音声を聞き, おおよその内容を理解する。 • 空欄に答えを記入する。 • 答え合わせをする。	• 日本で活躍している外国人について学ぶことを伝える。 • まず全体を 1 回流し, その映像や音声を通じて, Findlay さんがどんな仕事をしているかを聞き, 答えを空欄に日本語で記入させる。 • Findlay さんの仕事がアドベンチャー・ガイド(adventure guide)であることを確認する。 • もう一度聞かせ, 分かったことを記入させる。以下のようなヒントを与えてもよい。児童が理解していないようなら, 複数回聞かせる。 1) 出身地(オーストラリア) 2) 今住んでいるところは?(ニセコ) 3) 夏の好きなスポーツ (ラフティングとマウンテンバイキング) 4) 冬の好きなスポーツ(スキー) 【評価】○主(世界と日本についての理解を深めようとしている)	
文字指導 7分	<b>[Sounds and Letters] BINGO</b> • 先生が指定した 16 文字を p.92 の BINGO 表に書きこむ。 • 先生が言う文字に○をして BINGO ゲームを行う。	• アルファベットチャートで大文字の名前を確認する。 • 指導者が指定した 16 文字を, p.92 の BINGO のマスの中に自由に書き込ませる。 • 指導者用絵カードをシャフルし, 16 文字を読み上げる。 【評価】* 知(アルファベットの大きな文字を書くことができる)	
まとめ 5分	• 前時および本時の活動をふり返る。ふり返しシートに記入する。 • 挨拶をする。	• 本時や単元全体を振り返り, 児童の良かったところをほめる。 • ふり返しシートに記入させる(2 時間分および単元全体分)。 • 挨拶をする。	

\* Enjoy Communication の進捗に応じて, 活動を調整ください。

Over the Horizon は他教科とも連携しながら視野を広げていく活動です。